

ヒナが誕生しました



シロフクロウ

飼育員 日誌



長野・須坂市動物園

6月17日にシロフクロウのヒナ1羽が孵化しました。孵化して1、2週間は母親のチップが餌をちぎって与えていましたが、今では自力で餌を丸呑みしています。

3週間ほどでヒナの大きさは5倍ほどに成長し、灰色の毛玉の天使のようになりました。写真。私たちの園の今年の「代表動物」でもある父親の「代表動物」でもある父親のムースは、チップとヒナのために餌を運び、飼育員が来ないか見張っています。

繁殖期のシロフクロウは気性が荒くなり、掃除や餌やりのために飼育員が獣舎へ入るたびに蹴りかかってきたり、くちばしで噛んだりします。ひやひやしながら飼育していますが、日に日に大きくなるかわいひなのためならなんのその。

シロフクロウは寒冷地に住んでいる動物のため、暑さが苦手です。健康かつ快適に過ごしてもらえようように、クーラーや扇風機、日よけを設置し、凍ったペットボトルをこまめに換えるなど、暑さ対策を徹底しています。

これからもヒナの成長を見守ってください。

(飼育ふれあい係 笹島優里華)